

# 三条教区通信

## 第 43 号

発行日 2011年1月1日  
 発行者 三条教務所長 藤坂 初裕  
 発行所 真宗大谷派三条教務所  
 〒955-0071 三条市本町 2-1-57  
 変更⇒ E-mail: [sanjo@higashihonganji.or.jp](mailto:sanjo@higashihonganji.or.jp)  
 URL: <http://www.gobosama.net>  
 ★本通信は上記 URL からご覧いただけます。

## 今月の法語

〔法語カレンダーより〕

### 聞思して

### 遅慮することなかれ

【教行信証総序】

## 研修会等ご案内

### ■住職研修会

開催案内後日

- ◆期 日 2011年3月9日(水)
- ◆会 場 三条教区同朋会館
- ◆講 師 菅原 伸朗 氏  
(東京医療保健大学教授、元朝日新聞宗教・学芸記者)
- ◆その他 詳細につきましては、後日ご案内いたします。
- ◆主 催 三条教区宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌委員会同朋会運動推進部会

### ■若手寺族研修会

開催案内後日

- ◆期 日 2011年4月13日(水)～14日(木)
- ◆会 場 13日:第21組浄泉寺 14日:第13組善行寺
- ◆講 師 武田 定光 氏(東京教区因速寺住職)
- ◆内 容 『宗祖親鸞聖人5章・6章』をテキストとした講義及び座談。
- ◆主 催 三条教区宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌委員会同朋会運動推進部会

## 宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌

### 本山御遠忌法要団参について

- ① 2011年1月頃には、確定一覧が教務所に、「確定書」「手引き」「しおり」「運行計画表」が引率責任者に、本山から送付予定です。
- ② 明年3月上旬に指定席券が本山から引率責任者へ送付されます。

2011年	
第一期法要	3月19日～3月28日
第二期法要	4月19日～4月28日
第三期法要	5月19日～5月28日
御正当報恩講	11月21日～11月28日

### 教務所別院主催御遠忌団参について

明年3月に出発する教務所別院主催の御遠忌団参について、募集期間を延長してさらに募集することになりました。

第1班：2011年3月20日(日)～3月22日(火)

■所要経費：お一人 57,000円(宴会費込)

■募集人数：40名(満員になり次第、締切らせて戴きます。)

■バス乗降箇所：(新潟駅南口・三条教務所・長岡 I.C・柏崎 IC)

第2班：2011年3月21日(月)～3月23日(水)

■所要経費：お一人 55,000円(宴会費込)

■募集人数：40名(満員になり次第、締切らせて戴きます。)

■バス乗降箇所：(新潟駅南口・三条教務所・長岡 I.C・柏崎 IC)

※お申し込みは、教務所まで。

### 本山御遠忌関連各種行事について

『真宗』誌9月号以後の号、『御遠忌ガイドブック』のP122にて法要出仕や各種イベント案内が掲載されております。

### 御遠忌讃仰事業の予定

本山の御遠忌讃仰期間中の2011年3月31

日に、教区の日として本山で田んぼアート採納式や展示企画等を開催いたします。『教区報』第209号にも関連記事を載せております。1月末には開催案内チラシを全寺院・教会にご送付申し上げますの予定です。

### 教区御遠忌お待ち受け法要兼別院報恩講

12月16日、打ち上げを兼ねて実行委員会の反省会を持ちました。報告は1月末にお届けの予定です。

## 教化委員会からのお知らせ

### 三条教区教化研修テーマについて

教化委員会企画委員会において、これまでの教区教化研修テーマ「共にといえる 人生を生きよう」について、教化委員会任期満了までの間、継続する運びとなりました。

教区教化委員会を中心に、このテーマについて考察を重ねて、次の教化委員会へ引き継ぐべく、【「共にといえる、人生を生きよう」に憶う】と題して、順番に執筆、毎月『教区通信』に掲載いたします。

第27回目は、研修部会委員の金巻拾子氏です。

\*\*\*\*\*

### 「共にといえる、人生を生きよう」に憶う

#### 第23組無為信寺門徒 金巻拾子

もう数年前のある推進員の研修会の班別座談会の場でのこと。座談会での問題提起が、各組での活動内容についてどの様なものか、というような事だったように記憶しております。

各組の活動内容は似たり寄ったりで、活動している組、特に何もしていない組と色々さまざま、私供のところは、丸一日を用いた前期では総会兼研修会、後期は半日の研修会のみ。

私は何処へでも聞法の場へ出向いていけるが、その地域から出ることのできない人達に、どうしたら良いか、と言ったら、男性の人から他の人達はどうでもいいと手刀で切られ、彼方が救われることだと指差され、二度も繰り返して、え、私、救われてないの・・・と頭の中で思ったが、口には出なかった。私を指差した残り三本の指は自分を指しているのが分っているの？それ以来長い間、救われるとは一体どういう事なんだろう、と本気で悩んだ時期もあったりしました。その後、教区での「共にといえる人生講座」のスタッフの一員として学習会などを通し、「共に」とは口や言葉で言うほど簡単で容易いものではないことを確かめました。だからこそ、教区教化研修テーマにも選ばれたことでしょうか、生涯かけて「共にといえる」ような歩みをしていきたいと思う。

※次回は研修部会委員の澤田祥子氏(第17組淨恩寺)よりご執筆いただきます。

### 「同朋の会提灯・上山旗」贈呈式の様子

阿賀野市金淵で開かれている金淵講同朋の会(23組西蓮寺所属:代表 小林 護さん)

では毎月第3日曜日の午前中、金淵の公会堂を会場とし、地域の皆さんが中心となり講が長年開催されて来ました。

毎月の集まりには、近隣のご住職にご法話をいただいたり、皆さんで正信偈や阿弥陀経の練習をし、その後座談会など行っておられます。

このたび、同朋の会に登録するとともに、「同朋の会提灯・上山旗」の申請をされ、それらを11月21日にお届けしました。

当日は、金淵全集落50数戸中30名あまりの方々が出席され、勤行を行い、金淵講に伝わる達如上人からの御消息の拝読、法話後は和やかに懇談がはかられました。

講の歴史に思いを馳せるとともに、同朋の会への登録を契機にさらなる歩みの確認がされたことです。



### ◎同朋の会結成届けについて

寺院・教会や地域などで同朋の会が結成されましたら、結成届を教務所にご提出ください。届出の提出されました同朋の会には、「同朋の会提灯」や「同朋の会奉仕上山旗」が無償で贈呈されます。

(贈与は1回。提灯や上山旗には申請されました会の名称が入ります)また、「同朋会員結婚記念念珠」が無償で贈られます。詳しくは教務所(森・北島まで)

## 教務所からのお知らせ

### ◎ラジオ放送「東本願寺の時間」について

宗門が1951年11月よりラジオ伝道として取り組んで

きている「東本願寺の時間」について、吉運堂様のご提供により、新潟県でもお聞きになれます。

また、現在は、宗祖の御遠忌テーマ「今、いのちがあなたを生きている」を番組テーマとして様々な方より法話をいたしておりますが、現在、宗派のホームページである「しんらんしょうにんホームページ」

(<http://higashihonganji.jp/index.html>)にて、これまで放送された番組をお聴きいただくことができます。

是非、ご聴取ください。

## ラジオ放送「東本願寺の時間」

○テーマ 「今、いのちがあなたを生きている」

○講師 (事情により変わる事があります)

★11/21～1/8 酒井義一 氏(東京教区)

※1/1～1/7は宗務総長のお話の予定です。

★1/9～2/19 佐藤義成 氏(長浜教区)

○放送局 新潟放送(BSN)

\*新潟県全県をカバー

・小出エリア 1026KHz

・中越エリア 1062KHz

・下越エリア 1116KHz

・塩沢エリア 1485KHz

・上越エリア 1530KHz

○時間 毎週金曜日 5:00～5:10

○提供 吉運堂様

## ◎いのち・愛・人権新潟展におでかけください

部落差別をはじめ、一切の差別を撤廃し、平和と民主主義、人権の確立という願いを、すべての新潟県民のなかに確かなものとしていくことをめざし、「いのち・愛・人権展」を1989年に新潟市で開催して、今年で22回目を迎えます。

今年は「いのち・愛・人権」新潟展として次の内容で開催されます。

是非、ご参加ください。

◆期間 2011年1月26日(水)～2月1日(火)

◆会場 りゅーとびあ(新潟市民芸術文化会館)

◆記念講演会

・日時 1月26日(水) 15:00～16:50

・場所 りゅーとびあ

・講師 荒木康雄 氏

(全国人権教育研究協議会事務局長)

・講題 部落問題と人権教育の課題

・参加費 無料

・問合せ 新潟市 市民総務課市民相談係

(☎025-226-1025)

## ◎教務所事務休止について

下記のとおり教務所事務を休止とさせていただきます。期間中まことに御迷惑をおかけいたしますが、何卒よろしくお祈りいたします。

①期間2010年12月29日～2011年1月6日

②緊急連絡先

・三条別院 0256-33-0007

・藤坂所長 0766-76-2911(光臨寺)

・加田岡主計 0749-85-4527(圓長寺)

・竹内主事 02559-2-2326(光円寺)

## ◎教区他 主な行事予定一覧(12月23日現在)

日程は変更となる場合があります。諸行事の重複等を避けるうで参考になるよう、なるべく把握している行事は掲載しております。

日	時	行事内容
<b>2011年</b>		
<b>1月</b>		
1/1	00:00	三条別院修正会
1/7	15:00	子ども会巡回 保育研究部会
1/11	13:30 14:00 15:00	別院教化審議会 坊守役員会 子ども奉仕団
1/12		臨時教区会
1/13	14:00 14:00	お待ち受法要兼報恩講教化部会 教区門徒会常任委員会 センター
1/14	14:00	帰敬式受式者の集い 法宝物調査
1/17	14:00	差別と真宗スタッフ会議
1/18	14:00	教区御遠忌委員会教化伝道部会
1/20		センター
1/21	14:00	～22日保育 園長・設置者研修会 フォーラム会議
1/24	14:00	夏の集い・仏青通信会議 23組別院巡回
1/26		いのち・愛・人権展はじまり
1/27		センター
<b>2月以降の予定</b>		
2/4	16:00	教学研修輪読会
2/9～10		靖国交流学习会兼歴史講座
2/16		同朋の会教導総会
2/19	14:00	学院同窓会
2/26		～27日真宗学院一泊研修 保育講習会
3/1		～2日教学研究会(三木彰圓氏)
3/3		10組差別と真宗学習会
3/5		～6日15組推進員養成講座(別院)
3/9		住職研修会
3/11		～12 御遠忌オープニングの所長会
3/12		本山御遠忌オープニングイベント

3/19	～3/28 本山御遠忌第一期法要
3/29	～4/18 本山御遠忌御遠忌讃仰
3/31	御遠忌讃仰三条教区の日(於本山) 御依頼適正審議会委員・「差別と真宗」協議会員任期満了
4/1	～3 日本山春の法要
4/4	声明基本講習会
4/8 午後	15 組別院清掃奉仕
4/13	～14 日若手寺族研修会
4/19	～4/28 本山御遠忌第二期法要
4/29	～5/18 本山御遠忌御遠忌讃仰
5/19	～5/28 本山御遠忌第三期法要
6/4	保育大会・新任研修会 20 組公開講座
6/13	15・16 組育成員研修
6/30	教区教化委員・教区坊守会役員・教区御遠忌委員(所長選定)任期満了
9/30	査察委員任期満了
11/5	～8 日三条別院報恩講
11/21	～28 日本山御正当報恩講
<b>2012年 同朋会運動50周年</b>	
3/31	教区門徒会員・教区監事(常任委員会選出)任期満了
4/30	参議会議員任期満了

## 駐在教導のつづやき ～北島之篇～

新年が訪れた。

御遠忌 YEAR である。

しかし、いろんな段取りに振り回され、立ち止まってゆっくり考える暇もないまま、今を迎えているような気がする。

空しくもあり、弱気になってしまう。弱気？といってもビビっているわけではなく、こんな方向でいいのか？と不安になる・・・。

ん？？やっぱりビビってんのか？

いずれにせよ、スッキリしない。考えれば考えるほど、頭が固い自分しか見えてこない。というかそんな自分が見えているのか？とも思う。またその問いすら狭い範囲での自分の中での問い。何をしたいのか？と聞かれ、「・・・」考え込んでしまう。「宗祖に会う」という次元ではない。傷ましい。

「人と会うという事は、自分の足りないところを見つけることだよ。」と教えてくれた人がいる。

その足りないところを満たす事は出来ないだろう。でもそのことに素直に気付く事。いまさらながら、そんな事を感じさせられる。

「たくさんの人に遇っていかねば・・・」今月はこんな心の『つづやき』である。かしこ。

## 所員のせさやき ～五辻之篇～

ある人いわく、「救いはM心にある。」

こんな発言をしたときには、多方面から叩かれる恐れがあったりなかったり。でも、僕は表現方法のひとつとして、かなり面白い表現だと思います。

性的なSとかMとか、攻めるのが好きとか攻められるのが好きとか、そういう次元の話じゃなくて。もっと奥の話。

M心っていうことは、すべてを引き受ける覚悟があるかどうかっていうこと。身を任せることができるかっていうこと。僕はそう受け止めました。

ある日、「救いはM心にある。」的なことを別院のS氏に話していたら、さすがはS氏。すかさず「浄土をねがう行人は、病患をえて、ひとえにこれをたのしむ」と聖典から引用してきた。たまたまその日は初めて2人で飲みに行きました。初デートは「どんと」でした。また飲みに行きましょう。

「浄土をねがう行人は、病患をえて、ひとえにこれをたのしむ」とは、『御文』四帖目十三通の「法然聖人の御詞にいわく」の後とこ。「病患をえて、ひとえにこれをたのしむ」って、病気を楽しむことができるってことですよ。驚きです。つまり、この流れで言うと、浄土を願う行人はMだ。そういうことになります。病気を楽しむなんて世間一般常識で考えたら異常ですよ。ドMです。

この前、14組のお待ち受け大会で、延塚先生が「良いところ悪いところ全部あなたなんですよ」とおっしゃっておられたが、それがなかなか難しい。僕は、自分の悪いところは認めたくないし、都合の悪いものは排除したい。ましてや病気をなんて引き受けたくないし、喜べない。喜べない自分を恥ずかしいとも思えない。・・・ということは、この流れでいうと、僕はSだ。そういうことになります。

苦しみ喜びが変わるとき。痛みが快感が変わるとき。絶望が希望が変わるとき。

あらゆる苦悩を引き受けて、全部いただいて、それを逆縁として、そこから歩みだそうとする心。なんというか、「苦悩からあふれ出すのち」が「光」を求めてる感じ。これこそ「いのち輝け！」の世界っぽいなと思った。なんとなく。光寿無量。

生きてるうちに、めぐりあいたい。生きてるうちに。

「かかる世のなかの風情なれば、いかにも一日も片時も、いそぎで信心決定して、今度の往生極楽を一定して、そののち、人間のありさまにまかせて世をすずべきこと肝要なり」

今を味わって生きようと思った。今年もよろしく願います。